

日本現代中国学会関東部会 定例研究会のご案内

会員各位：

関東部会定例研究会を下記の要領で開催致します。ふるってご参加下さい。

記

定例研究会 「解密檔案中的李登輝與台灣務實外交」

今回の現代中国学会関東部会定例研究会は、スタンフォード大学フーバー研究所の林孝庭研究員をお迎えし、李登輝政権期台湾の対外政策について講演を行なっていただきます。米国、英国、台湾などで近年機密解除された公文書に依拠して、李登輝政権期の「務実外交（実質主義外交、現実外交などと訳されることが多い）」はどのように展開されたのかを再考します。1月13日に投開票日を迎える台湾総統選挙においては、対外政策における「蔡英文路線」の継承が一つの論点となっています。その起源と位置付けられることも多い李登輝の「務実外交」についての再検討は、今後の台湾対外政策を展望する上でも多くの示唆を与えてくれるはずです。討論者には、新著『台湾のアイデンティティ-中国との相克の戦後史』（文春新書）をご出版された家永真幸教授（東京女子大学、本学会常任理事）をお迎えします。

日時：2024年1月28日（日）15:00-17:00

場所：法政大学市ヶ谷キャンパス ボアソナードタワー25階 B会議室

※地図：<https://www.hosei.ac.jp/ichigaya/#access>

使用言語：中国語（通訳なし）

問い合わせ先：福田 円（madoka[a]hosei.ac.jp） [a]=@にご変更ください

プログラム：

司会 福田 円（法政大学）

15:00-15:10 開会の辞、趣旨説明（福田）

15:10-16:15 林 孝庭（スタンフォード大学）「解密檔案中的李登輝與台灣務實外交」

16:15-16:30 家永 真幸（東京女子大学） コメント

16:30-16:40 報告者からの応答

16:40-17:00 質疑応答

関東部会事務局：〈代表〉倉田 徹（立教大学）、〈総務〉佐藤 千歳（北海商科大学）

及川 淳子（中央大学）、中村 みどり（早稲田大学）、

吉見 崇（東京経済大学）

〈幹事〉大橋 義武（東京女子大学）、熊倉 潤（法政大学）、

河野 正（東京大学）、内藤 寛子（アジア経済研究所）